

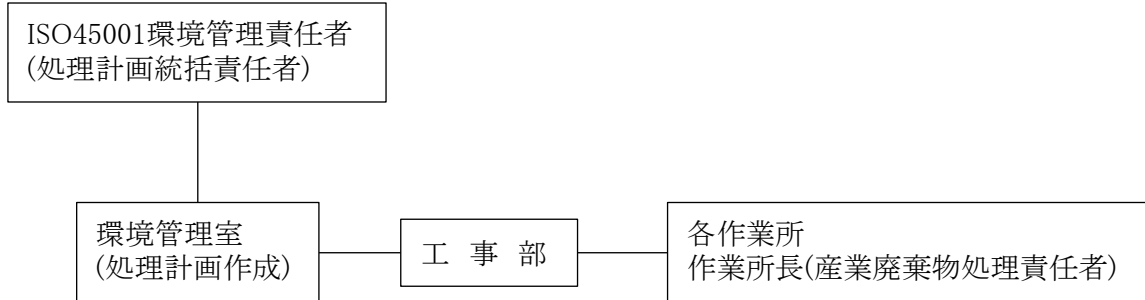
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7年 6月 26日	
石川県知事 馳 浩 殿	
提出者	
住 所 石川県 白山市 尾添イ55番地	
氏 名 株式会社 山崎組	
代表取締役社長 山崎 貴文	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 076-256-7314	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 山崎組
事業場の所在地	石川県 白山市 尾添イ55番地
計画期間	令和 7年 4月 1日 から 令和 8年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 :11億8000万円 (令和6年度実績)
③ 従業員数	31人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2 (1)のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・利用範囲内での金属くず、型枠材の再利用 ・発生を抑制する施工方法の採用		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2 (1)のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・他の廃棄物が混入しないよう、種類別で入れ物を置き、分別に取り組んでいる。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) これまで通り

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	2 t	t
	(これまでに実施した取組) ・型枠材の再利用		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	2 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・型枠材の再利用		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2 (1)のとおり	
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2 (1)のとおり	
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2 (1)のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2 (1)のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2 (2)のとおり	
	全処理委託量	別紙2 (2)のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙2 (2)のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		

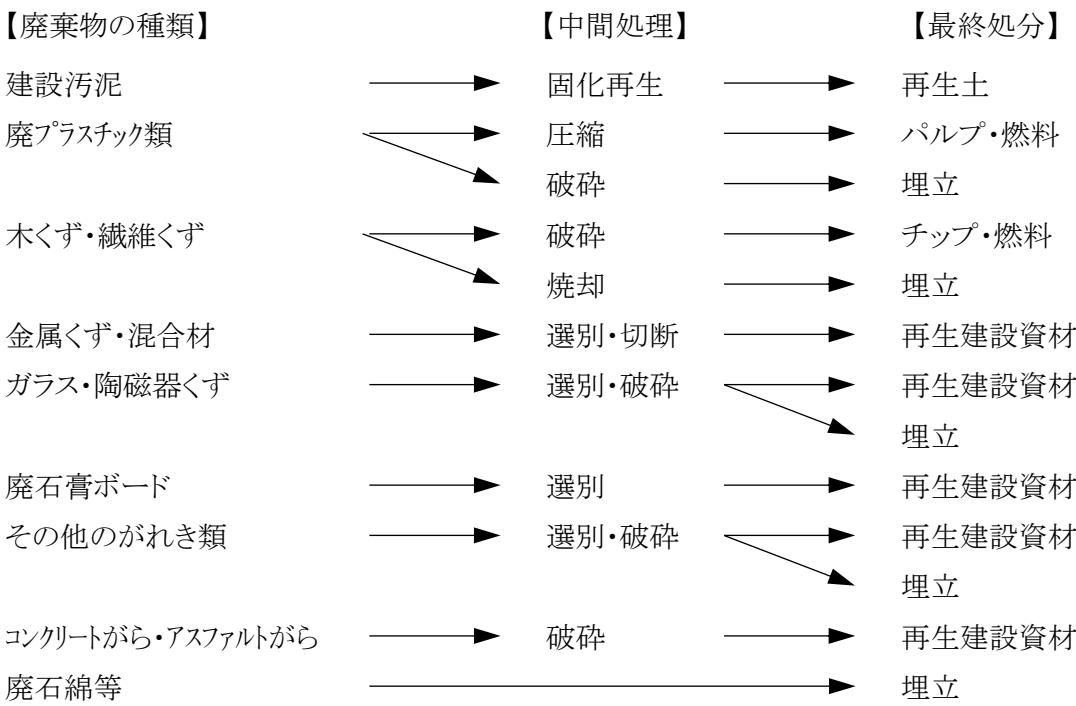
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2 (2)のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙2 (2)のとおり	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙2 (2)のとおり	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・今後予定なし		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1

④産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙2

(1) 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

廃棄物の種類	排出量		全処理委託量						自ら熱回収を行った量	
			直接再生利用した量		中間処理後に再生利用した量への処理委託量					
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
コンクリートがら	722.75	1000.00								
アスファルトがら	652.78	500.00								
廃プラスチック	15.24	10.00								
金属くず	1.57	5.00								
木くず(生木含む)	8.62	5.00								
混合(安定型)	7.77	5.00								
その他がれき類	0.00	3.00								
廃油	0.18	0.50								
合計	1408.91	1528.50								

(2) 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

廃棄物の種類	全処理委託量						熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			
			優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		熱回収認定業者への処理委託量			
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
コンクリートがら	722.75	1000.00	722.75	1000.00						
アスファルトがら	652.78	500.00	652.78	500.00						
廃プラスチック	15.24	10.00	15.24	10.00						
金属くず	1.57	5.00	1.57	5.00						
木くず(生木含む)	8.62	5.00	8.62	5.00						
混合(安定型)	7.77	5.00	7.77	5.00						
その他がれき類	0.00	3.00	0.00	3.00						
廃油	0.18	0.50	0.18	0.50						
合計	1408.91	1528.50	1408.91	1528.50						